

仕 様 書

1. 品 名 全有機体炭素・窒素分析装置 (参考機種)

・島津製作所 TOC-L 1式
(内訳)

本体 (TOC-L CPH)	1 台
制御 PC (プリンター付き)	1 台
全窒素 (TN) 測定ユニット (TNM-L)	1 台
TN 用エアコンプレッサ	1 台
オートサンプラー (ASI-L24ml バイアル用、スターラ付き)	1 台
試薬キット	1 式
高塩試料燃焼管キット	1 式
ガス配管接続セット (ポンプ 架台・調圧器含む)	1 式

※参考機種のほか、3の基本的仕様を満たしているもの

2. 数 量 1 式

3. 基本的仕様

- ①. 全有機炭素 (TOC) の測定 - 検出方式として、燃焼酸化 - 非分散型赤外検出 (NDIR) 法を採用していること。
- ②. 炭素成分として、全炭素、無機炭素の他、不揮発性有機炭素 (NPOC) の測定が可能であること。
- ③. 試料希釈、流路洗浄、及び試料前処理 (酸性化・通気処理) を全て自動で行えること。
- ④. TOC の測定可能範囲が最大 20,000 mg/L 以上 (上限値は自動希釈機能 (③) に定める) を使用した場合)、検出限界が 4 μ g/L 以下であること。
- ⑤. 塩分濃度の高い試料 (海水、汽水等) に対応する燃焼管キットを付属すること。
- ⑥. 全窒素 (TN) の測定方式として、熱分解法を採用していること。
- ⑦. TN の測定可能範囲が最大 3,000 mg/L 以上 (上限値は自動希釈機能 (③) に定める) を使用した場合)、検出限界が 5 μ g/L 以下であること。
- ⑧. TOC と TN の同時測定が可能であること。
- ⑨. 分析に必要な試料量 (オートサンプラーバイアルにセットする試料液の容量) が 40 mL 以下であること。
- ⑩. オートサンプラーには、バイアル中の試料を攪拌するためのマグネチックスターラが付属されていること。
- ⑪. 繰り返し測定における平均値、標準偏差及び変動係数が表示・印字され、自動で異常値 (飛び離れた測定値) の検出及び削除並びに追加測定ができ

ること。

4. 納入場所

国立研究開発法人国際農林水産業研究センター
海外実験棟 水質・土壌化学実験室

5. 納入期限

令和2年11月30日

6. その他

- (1) 納入日、納入方法等の詳細については、担当職員と打合わせのうえ実施すること。
- (2) 機器の搬入、据付完了後、試運転、性能試験を行うこと。
- (3) 納入・設置に際し、在来部分を汚損した場合は、在来に倣い補修すること。
- (4) 納品の際は、検査職員の検査を受けること。
- (5) 修繕の費用については、使用者の故意又は重過失によるものを除き、納入後1年間無償とすること。
- (6) その他、業務中に疑義が生じた場合は、担当職員と協議のうえ業務を完了させること。